

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		予備費充当		20年度予算コード	1	整理番号	20	枝番号
担当部課名	政策経営部財政課		コード	000200		昨年度 整理番号		
係名			連絡先 電話番号	1423				
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		根拠法令等 (1) 地方自治法第217条 (2) 杉並区予算事務規則第22条 (3)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 予算外の支出、予算超過の支出に対して充当する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			
(1)				(1)				
(2)				(2)				
指標	活動指標(1)	単位	18年度 実績	19年度 計画	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/
	活動指標(2)							
	成果指標(1)							
	成果指標(2)							
	事業費		千円	0	436,290	0	650,060	
(内) 投資的経費等		千円						
(内) 委託費		千円						
職員数(常勤 非常勤)		人		0.01		0.01		
人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	91	0	91		
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
総事業費 + +		千円	0	436,381	0	650,151		
単位あたりコスト(-)÷		円						
財源	受益者負担分	千円						
	国・都等からの支出金	千円						
	特定財源計 +	千円	0	0	0	0		
	差引: 一般財源 -	千円	0	436,381	0	650,151		
受益者負担比率 ÷		%		0.0		0.0		
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)
		その他 ()						0

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	一般職員人件費	20年度予算コード	1	整理番号	39	枝番号
-----------	---------	-----------	---	------	----	-----

担当部課名	政策経営部職員課	コード	001004	昨年度 整理番号
係名	給与係	連絡先 電話番号	1519	

上位施策名 No 101 国民健康保険事業の運営

事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 政策番号 施策番号 事業コード <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等 (1) 地方公務員法 (2) 杉並区職員の給与に関する条例 (3) 東京都職員共済組合定款
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 国民健康保険一般職員(常勤・再任用)	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 勤務成績等に基づくメリハリのある給与制度を構築し、職員の意欲と能力を高め、質の高い行政サービスの提供を図る。
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 庶務事務システムにより申請のあった各種手当を審査するとともに、職員の勤務成績等に基づき例月給与・期末勤勉手当を適正に支給する。また、東京都職員共済組合の事業主負担金等を支払う。	活動指標名(式) 成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 国民健康保険一般職員数(再任用含む) (1) (2) (2)

区分	単位	18年度		19年度		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%	
		実績		計画	実績				
指標	活動指標(1)	人	72	78	74	73			
	活動指標(2)								
	成果指標(1)								
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	585,269	640,427	607,348	603,550	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円							
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.00		0.99		1.07		0.96
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,060	9,049	9,780	8,774		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	594,329	649,476	617,128	612,324			
	単位あたりコスト(-)÷	円	8,254,569	8,326,615	8,339,568	8,388,000			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円	585,269	640,427	607,348	603,550		
特定財源計 +		千円	585,269	640,427	607,348	603,550			
差引: 一般財源 -		千円	9,060	9,049	9,780	8,774			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				

19年度の主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
	給料	74	人	292,093
	職員手当(期末勤勉手当、地域手当、時間外勤務手当等)	74	人	223,599
	共済費	74	人	91,656
	その他 ()			0

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 39 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	94.9	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	94.8
	人員の増加、及び時間外勤務手当が700万円増加、共済費が600万円増加したことにより、 全体で事業費(人件費)が2,200万円増加した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している 場合、関連する新規事業がある場 合にはその概要も明記)	・給料月額を、地域手当の支給割合の引上げ(1.5%)と同率程度引下げた。 ・地域手当を13%から14.5%に引上げた。 ・勤勉手当を0.05月分引上げた。 ・技能業務系職員の給料月額を平均9%引下げた。					
事業環境の 変化	事業開始当初から 現在までの変化	特別区人事委員会は、毎年区と民間の給与を調査し、官民較差を是正し、区職員の適正な給与水準 を維持するために勧告を行っている。区では、この勧告を受けて、条例案を作成し、区議会での審議を 経て、一般職員の給与を決定している。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	高齢社会への対応など行政需要が高まり、住民負担が増加する中で、公務員給与について 無駄なく、適正に支給されているか？給与水準は業務に見合ったものか？など関心が高まっ てきている。				
	今後の予測	給与の構造改革を推進する。(成績率の拡充、期末勤勉手当の職務段階別加算率の見直し、給与 カーブのフラット化、給与水準の見直しなど) 勤務成績等に基づくメリハリのある給与制度を構築し、 職員の意欲と能力を高め、質の高い行政サービスの提供を図る必要がある。				
事業の あり方 点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 業務の効率化、協働化を図ることで、人件費の縮減を図ることができる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができる できる(へ)	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 勤務成績等に基づく給与制度を構築し、職員の意 欲と能力を高め、生産性を向上させることで、人件費の削減を図る。 職員の 退職、既存事業の縮小などによる職員定数の見直し、協働化の推進を図る。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 人件費という性格から、受益者負担は適さない。				
(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 給与水準の見直し、超過勤務手当等の縮減					
協働等 点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の 方策)				
	(3) 協働等の形態	庶務事務システムが導入されているためシステムを含めた民間委託は 困難である。また、人材派遣も、入れ替わりが激しいことが予想され、人 材育成の観点からも困難である。				

今後の 事業の あり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 年功序列型の給与制度を見直し、業績評価に基づく給与制度を構築する。 (給与水準の見直し、成績率の拡大、期末勤勉手当の職務段階別加算率の見直し、給与カーブのフラット化など) 事務事業の見直し・協働化・委託化による定数削減。	
21 年度 方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	職員の側に現状を維持しようとする意識があるので、職員の意識改革・職場風土の改革が必要である。
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由		第4次行政改革実施プランでは、20年度中に区全体で110名の定数削減を計画しているが、削減部署が未確定なため、 具体的な記載ができない。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		嘱託員人件費		20年度予算コード	1	整理番号	42	枝番号	
担当部課名	政策経営部職員課	コード	001004	昨年度 整理番号					
係名	給与係	連絡先 電話番号	1519						
上位施策名	No	101	国民健康保険事業の運営						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	60 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	国民健康保険嘱託員						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	申請のあった各種手当を審査するとともに、例月の報酬を適正に支給する。また、社会保険料等の事業主負担金を支払う。							
	活動指標名(式)	(1) 国民健康保険嘱託員数(職員課雇用パートタイマーを含む) (2)							
				根拠法令等					
				(1) 杉並区非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例 (2) 杉並区非常勤職員規則 (3) 杉並区嘱託員取扱要綱					
				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 嘱託員の勤務条件等処遇全般を時代に適合したものに見直し、嘱託員の意欲と能力を引き出し、質の高い行政サービスの提供を図る。					
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	人	0	3	3	8			
	活動指標(2)								
	成果指標(1)								
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	0	8,720	8,498	23,274	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円							
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.00	0.09	0.09	0.09			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	823	823			823
		非常勤職員分	千円	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	0	9,543	9,321	24,097			
	単位あたりコスト(-) ÷	円		3,181,000	3,107,000	3,012,125			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円		8,720	8,498			23,274
特定財源計 +		千円	0	8,720	8,498	23,274			
差引: 一般財源 -		千円	0	823	823	823			
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)			
	報酬			3	人	7,474			
	共済費			3	人	1,024			
	その他 ()					0			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 42 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	97.5
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成18年度は、国民健康保険嘱託員を配置しなかったため、前年度との比較はできない。19年度は人員を精査のうえ、3名の配置に留めた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	行財政改革に伴い常勤職員の定数削減を推進する中で、行政需要に対応する人的資源の不足を補うために、一般嘱託員に対する需要が増加している。また、団塊の世代の大量退職に伴い、退職者の豊富な知識と経験を有効に活用できるよう雇用の場を確保する必要がある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢社会への対応など行政需要が高まり、住民負担が増加する中で、公務員人件費が無駄なく、適正に執行されているか？給与水準は業務に見合ったものか？など関心が高まってきている。					
	今後の予測	職員の非常勤化、業務の民間委託・協働など、行政の効率化をさらに向上させることが求められる。正規社員と非正規社員との格差是正が求められている中、自治体の非常勤職員の処遇改善は避けられない課題である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由： 職員の非常勤化を推進することで、嘱託費人件費は増加するが、職員人件費の縮減を図ることができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容： 総人件費抑制のため、職員の非常勤化の推進を図ることから、嘱託員人件費は増加せざるを得ない。					
	成果向上のための方策	理由または具体的内容：					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容： 人件費という性格から、受益者負担は適さない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容： 常勤職員との格差是正のため、非常勤職員の勤務条件等処遇改善は避けられない課題である。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方：		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 嘱託員の報酬計算は、常勤職員の給与計算と比較すると簡単であり、民間委託するほどの作業量がない。また、人材派遣も、入れ替わりが激しいことが予想され、人材育成の観点からも困難である。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 嘱託員の勤務条件等処遇を時代に適合したのに見直し、嘱託員の意欲と能力を引き出し、質の高い行政サービスの提供を図る。 そのためには、今後の課題として、報酬額の見直しや福利厚生制度の充実を検討する必要がある。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 常勤職員との格差是正など、非常勤職員の勤務条件等処遇改善は、コスト増の要因であり、今後慎重な検討が必要である。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 第4次行財政改革実施プランでは、20年度中に区全体で110名の定数削減を計画している。このため、嘱託員の需要は高く、嘱託員を増加させることとなる。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険一般事務		20年度予算コード	3	整理番号	148	枝番号			
担当部課名	保健福祉部 国保年金課		コード	140700	昨年度 整理番号	205,206,207,208					
係名	管理係		連絡先 電話番号	1232							
上位施策名		No	101	国民健康保険事業の運営							
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	34 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	国民健康保険加入世帯、事務従事職員及び事務処理に関連する法人		根拠法令等						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	国民健康保険事業運営に要する一般事務経費の執行管理、保険資格管理、賦課、徴収、給付事務		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
	活動指標名(式)	(1) 平均被保険者世帯数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 保険料現年度分収納率 (2)							
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%		
			実績		計画		計画	22年度			
指標	活動指標(1)		人	133,408	134,618	132,944	106,933				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	86.75	90.44	86.43	88.00				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	172,787	404,415	309,050	428,441	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円	56,632	204,317	149,092	307,461				
	職員数 (常勤 非常勤)		人	56.23 1.00	53.31 6.00	53.16 7.00	50.00 8.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	509,444	487,253	485,882	457,000			
		非常勤職員分		千円	2,830	16,620	19,390	22,160			
	総事業費 + +		千円	685,061	908,288	814,322	907,601				
	単位あたりコスト(-)÷		円	5,135	6,747	6,125	8,488				
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	172,787	404,415	298,007	428,441			
特定財源計 +		千円	172,787	404,415	298,007	428,441					
差引: 一般財源 -		千円	512,274	503,873	516,315	479,160					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		被保険者証更新等発行事務					196,828	件	20,930		
		システム改修委託料					1	式	70,781		
		その他 ()							217,339		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 148 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	98.8	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	76.4
		被保険者証の一斉更新や制度改正のPR経費など、単年度の経費が増大した。また、個人情報保護のため被保険者証の発送を普通郵便から配達記録郵便に変更したことにより、郵送費が増大した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成20年4月に大規模な医療制度改革が行われ、制度のPRやシステム改修を実施し、円滑に新制度への移行の準備を進めた。 制度改革の国の通知の遅れから、システム改修が実施されていないものは、平成20年度も引き続き改修を行う。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和34年12月加入被保険者数99,441人(加入率21.43%) 平成10年4月加入被保険者数176,741人(加入率34.61%) 平成20年3月加入被保険者数197,699人(加入率36.95%) 平成20年5月加入被保険者数157,755人(加入率29.33%)					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	保険料が高い。医療費の自己負担が高い。制度がわかりづらい。					
	今後の予測	長寿医療制度に関連して、国保の制度も影響をうけることになり、システムの改修が予想される。また、保険料賦課計算方法が住民税方式から旧たし書き方式への変更が検討されており、システムの改修等研究課題が山積している。このようにシステム改修の積み重ねやシステムの老朽化など、システム全体の見直しの時期にきており、システムの入替となると多額の経費が必要となる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 国民健康保険制度を支える国民健康保険事務(資格・賦課・徴収・給付)の役割は不可欠である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 発送業務の外部委託や制度改正によるシステム改修委託などの経費の増加が見込まれるため。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 医療費については、法の定めにより決まっておき区独自の見直しはできない。また、保険料についても、特別区統一の基準で運営しているため、区独自の見直しはできない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 長寿医療制度の開始により、被保険者数は減少したが、移動率(資格の増減)が高く、事務経費の減少につながらない。また、今後のシステム改修に経費が増大するため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 発送業務は、すでに委託を始めている。今後も事務を見直しして委託の拡充を図る。また、平成20年10月からは、保険料収納率の向上を目指して、(仮称)納付センターを開設し、運営については、委託する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 長寿医療制度の創設など、社会保障制度改革が行われており、国民健康保険制度についても制度の変更があり、今後も制度改革の激変緩和措置の発効も予想される。システム改修を適宜実施し、事務の効率化を図る。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・制度改正等に伴う国からの通知類の遅れから、実施までの期間が短く、システム改修の設計・実施が間に合わないため、システムが不完全にならざるを得ず、手処理の事務が残ってしまう。 ・保険料の収納率の向上を日々努力しているところであるが、職員一人ひとりの扱い件数が多く手に負えない状況になっている。	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ・平成21年度は国民健康保険の被保険者証の更新の年度にあたるので、更新に伴う事務経費が一時的に増大する。 ・平成20年10月から開設される(仮称)納付センターの運営経費が、通年化されるので、経費が増大する。 ・封入封緘に伴う発送業務の対象業務の拡大により委託経費が増大する。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険運営協議会		20年度予算コード	1	整理番号	149	枝番号		
担当部課名	保健福祉部 国保年金課		コード	140700	昨年度 整理番号	209				
係名	管理係		連絡先 電話番号	1232						
上位施策名		No	101	国民健康保険事業の運営						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	34 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 国民健康保険被保険者及び関係各機関代表(国民健康保険運営協議会委員)		(1) 国民健康保険法 (2) 杉並区国民健康保険条例 (3) 杉並区国民健康保険運営協議会規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	国保事業の運営の適正を図るために区長より諮問された事項について審議する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 国保事業を真に被保険者のための制度として、円滑かつ民主的に運営するために、各委員より諮問事項について積極的な意見・要望を出してもらおう。						
	活動指標名(式)	(1) 会議の開催数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)委員の出席率 (2)						
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%	
			実績		計画		計画	22年度		
指標	活動指標(1)		回	2	3	1	3			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		%	75	100	90	100			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	427	923	272	911	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円							
	(内) 委託費		千円	50	164	44	164			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.20	0.20	0.20	0.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,812	1,828	1,828	1,828		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	2,239	2,751	2,100	2,739			
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,119,500	917,000	2,100,000	913,000			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円	427	923	272	911		
特定財源計 +		千円	427	923	272	911				
差引: 一般財源 -		千円	1,812	1,828	1,828	1,828				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)	
		委員報酬					17	人	204	
		会議録作成委託					1	回	44	
		その他 ()							24	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 149 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	33.3	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	29.5
		諮問事項が2月の1回のみのため、会議の回数は1回となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	諮問事項が発生の都度の会議を開催するので、各年度の会議開催数は毎年変化している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	医療制度改正等に基づく政令等の公布により、回数の増が見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 国保に携わる各層からの意見・要望等を聞くことにより、適正に国保事業を運営することができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 委員の定数は「杉並区国民健康保険条例」で、報酬の額は「杉並区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例」で決まっている。また、事務局経費を増やしたところで事業の目的の達成にはつながらない。よって事業費と成果は結びつかない。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の性質から受益者負担は適用されない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 委員の定数及び委員の報酬は条例で決まっている。事務局管理費についても必要最小限であり削減は難しい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 国保運営において、特に重要な事項を保険者の代表たる区長から協議会へ諮問し、協議検討のうえ答申を得ている。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 委員の定数及び報酬の額は条例で定まっているため、事業自体も義務的なものなので、費用の多大な増減は発生しない。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険事業趣旨普及			20年度予算コード	1	整理番号	150	枝番号	
担当部課名	保健福祉部 国保年金課		コード	140700	昨年度 整理番号	210				
係名	管理係		連絡先 電話番号	1232						
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	34 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		国民健康保険被保険者						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	国保制度や国保事業の内容を被保険者に伝える		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 被保険者に国保制度や国保事業の趣旨を理解してもらう。						
	活動指標名(式)	(1) 「国保だより」の発行部数 (2) 「わかりやすい国保」の発行部数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)国保だより・わかりやすい国保の1世帯あたりへの発行部数(発行部数/平均被保険者世帯数) (2)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する19年度 の達成率%	/	
	活動指標(1)	部	141,400	281,400	427,400	110,000				
	活動指標(2)	部	192,900	198,500	170,400	144,000				
	成果指標(1)	回	1	3	4	1				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,880	12,314	7,458	20,128	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	525	1,300	735	1,239				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.30	0.30	0.50	0.50	平成19年度は、被保険者証の更新の年度で、9月の証更新の際に「国保だより」を同封し、2月には、制度改正の特集号を発行したため、通常の年度より多く発行した。 平成20年度からは、「国保だより」「わかりやすい国保」の作成費は被保険者証の発送業務と契約をまとめるため、一般事務に移行したため、減額となっているが、「わかりやすい国保」のサイズを見やすくするためにA4版にしたため、郵送料が多くなってしまった。			
	人件費	千円	2,718	2,742	4,570	4,570				
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0				
	非常勤職員分	千円	9,598	15,056	12,028	24,698				
	総事業費 + +	千円	68	54	28	225				
	単位あたりコスト(-)÷	円								
	財源	千円								
受益者負担分	千円	6,880	12,314	7,458	20,128					
国・都等からの支出金	千円	6,880	12,314	7,458	20,128					
特定財源計 +	千円	2,718	2,742	4,570	4,570					
差引: 一般財源 -	千円	0.0	0.0	0.0	0.0					
受益者負担比率 ÷	%									
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	わかりやすい国保(委託等)		170,400	部	4,652					
	国保だより(委託等)		137,000	部	933					
	杉並区・国民健康保険のご案内(委託等)		4,400	部	1,376					
	趣旨普及用ポスター(委託等)		1,500	枚	360					
その他 ()				137						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 150 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	151.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	85.8	19年度予算 執行率%	60.6
	平成20年度医療制度改革の準備及び被保険者証の更新の年度であったので、通常の年度より「国保だより」の発行回数が増え、臨時的に経費の増大を招いた。					

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	区広報や区公式ホームページを積極的に活用し、趣旨普及を行った。 平成20年度は75歳以上の被保険者が長寿医療制度(後期高齢者医療制度)へ移行したことにより減少したが、「わかりやすい国保」をより見やすく見直しを図り、従来のサイズより大判化してA4版にしたことにより、郵送料が増大した。この増大した郵送料を削減するため、ゆうメールを活用し、郵送料の当初予算より約半減することができた。
---	---

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	被保険者数等(外国人登録者数を含む) 昭和34年12月1日 加入世帯数 35,048世帯 (加入率 27.34%) 被保険者総数 99,441人(加入率 21.43%) 平成12年4月1日 加入世帯数 118,657世帯 (加入率 43.79%) 被保険者総数 186,334人(加入率 36.31%) 平成19年4月1日 加入世帯数 132,277世帯 (加入率 44.86%) 被保険者総数 200,430人(加入率 37.70%)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	少子高齢化の急速な進行など医療制度を取り巻く厳しい状況の中で、将来にわたり持続可能な制度へと再構築していくために国が行った医療制度改革に伴い、医療制度の改正が順次施行されている。このことにより国保制度に関しても改正があるため、改正の内容を被保険者等に十分に周知する必要がある。趣旨普及事業の重要性は高まる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 国保の制度・事業の周知は、被保険者が国保制度の理解を高める有効な手段である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 広報・啓発活動を見直し、積極的な委託など、より効果的な方法を検討し経費の削減に努める。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 趣旨普及事業は事業を運営する側がその事業の趣旨を提供するというもので、受益者負担という考え方はない。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 平成20年度から「わかりやすい国保」「国保だより」の発行を封入封緘業務と一体としたことにより、従来の印刷経費が一般事業に移行し、普及啓発事業では、郵送料のみの計上となった。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 広報物の印刷は元々業者発注で対応している。また、発送業務を「ゆうメール」制度を活用している。	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 国保制度の周知は、被保険者だけに限らず、ほかの区民にも周知する必要があるため、区の広報や公式ホームページを積極的に活用し、普及啓発に努める。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区の広報は、記事の多さなどから、紙面の一部に掲載されても区民の目に触れにくくなっている。特集号の発行などで国保制度や長寿医療制度を含めた医療制度を周知し、広く区民に理解してもらう必要がある。特集号の発行となると別に経費を掛けなければならない、費用対効果も含めた検討が必要となってくる。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	「わかりやすい国保」の発行に際して、ゆうメールを活用できたことにより、郵送料の削減が図れる。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		東京都国民健康保険団体連合会負担金		20年度予算コード	1	整理番号	151	枝番号
担当部課名	保健福祉部 国保年金課		コード	140700	昨年度 整理番号	211		
係名	管理係		連絡先 電話番号	1232				
上位施策名		No	101	国民健康保険事業の運営				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	34 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 東京都国民健康保険団体連合会		(1) 東京都国民健康保険団体連合会会員負担金規程 (2) 東京都国民健康保険団体連合会会員規約 (3) 国民健康保険法			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		東京都国民健康保険団体連合会会員である保険者が東京都国民健康保険団体連合会へ負担金を支払う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 東京都国民健康保険団体連合会の適正な運営			
	活動指標名(式)		(1) 支払回数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)			
指標	活動指標(1)	回	4	4	4	4	目標値 22年度 目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(2)							
	成果指標(1)							
	成果指標(2)							
	事業費		千円	11,663	12,270	11,567		
(内) 投資的経費等		千円						
(内) 委託費		千円						
職員数 (常勤 非常勤)		人	0.10	0.10	0.20	0.20		
人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	906	914	1,828	1,828		
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
総事業費 + +		千円	12,569	13,184	13,395	12,157		
単位あたりコスト(-)÷		円	3,142,250	3,296,000	3,348,750	3,039,250		
財源	受益者負担分		千円					
	国・都等からの支出金		千円	11,663	12,270	11,567	10,329	
	特定財源計 +		千円	11,663	12,270	11,567	10,329	
	差引: 一般財源 -		千円	906	914	1,828	1,828	
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)
		東京都国民健康保険団体連合会負担金の支出				4	回	11,567
		その他 ()						0

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 151 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	94.3
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		保健事業において温泉センターの割引利用券の配布を行っているが、2箇所ある温泉はどちらも西多摩地区にあり被保険者の利用の際、地域差が生じている。このため事業のあり方の見直しが昨年に引き続き連合会で行われている。広報活動においては、国保趣旨普及のため芸能人を起用したポスターを活用しているが、在庫が大量にあり、その事業効果がどのくらいなのか把握するのが難しい状況である。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	開始当初から現在に至るまで東京都国民健康保険団体連合会は、国民健康保険事業の運営に必要であり、重要性は変わらないので、根拠法令のとおり連合会負担金の支払いをしている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)					
	今後の予測					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 被保険者数を算出の基礎としているため、後期高齢者医療制度の発足により被保険者が大幅に減少したことに伴い、平成20年度に減少したが、今後は大幅な増減はないと思われる。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険一般療養の給付		20年度予算コード	1	整理番号	152	枝番号	1			
担当部課名	保健福祉部国保年金課		コード	140700		昨年度 整理番号	215					
係名	国保給付係		連絡先 電話番号	1273								
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営							
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		34 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区国民健康保険被保険者及び世帯主		(1) 国民健康保険法 (2) 杉並区国民健康保険条例 (3) 杉並区国民健康保険条例施行規則								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	被保険者の疾病・負傷に関し、診療・治療・手術等の現物給付(役務の提供)を行い、医療費の保険者負担額を医療機関等へ支払う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 被保険者の医療費負担が軽減され、安心して医療が受けられるようにする。また、医療費の適正化を図る。								
	活動指標名(式)	(1) 給付件数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)被保険者1人当たり費用額 = 療養諸費 / 被保険者数 (2)								
区分		単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		件	1,572,835		1,630,653						
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		円	190,023	185,498	201,192	203,002					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	17,986,886	19,582,898	19,317,012	22,322,885	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.00	2.00	3.50	3.50	一般被保険者数 131,442				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	18,120	18,280	31,990	31,990					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	18,005,006	19,601,178	19,349,002	22,354,875					
	単位あたりコスト(-) ÷		円	11,447		11,866						
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	9,369,443	9,416,347	10,396,154					13,852,725
特定財源計 +		千円	9,369,443	9,416,347	10,396,154	13,852,725						
差引: 一般財源 -		千円	8,635,563	10,184,831	8,952,848	8,502,150						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		一般療養の給付					1,630,653	件	19,317,012			
		その他 ()							0			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 152 枝番号 1

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	98.6
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	17年の被保険者数が203,602人で18年度は202,541人と減少に転じ、19年度はさらに197,699人と減少した。しかし、医療費は年々増加している。被保険者の高齢者の増加、医療の高度化等による医療費の増大などにより医療費の適正化の効果を上回る医療費負担となっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	医療保険があることで安心して医療機関にかかることができる。					
	今後の予測	被保険者数の減少するもの高齢者の割合が増加していることから当分の間は、療養の給付費の増加傾向は続くものとする。また、20年度より開始される特定保健指導等の成果によって25年度以降の給付費の減少が見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 被保険者に必要な給付を行うことにより、医療費負担が軽減され、安心して医療が受けられる。19年4月の改正により70歳未満の入院にかかる医療費について現物給付化が諮られ、被保険者の窓口負担の軽減を図ることができた。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 法令等により定められている。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 法令改正により自己負担割合等が20年度から自己負担割合等が引き上げられた。併せて自己負担軽減の経過措置(負担割合等の凍結)が施行された。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 医療費の適正化対策の効果以上に医療の高度化に伴う医療費の増大、後発医薬品の普及の遅れなどからもコストの削減は難しい。20年4月から実施された医療保険者が実施する特定保健指導等の成果により給付費の削減が25年度以降見込まれる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 療養の給付は法令等により定められており、保険者が単独で新たな事業を行うことは保険料に跳ね返るものであり難しい。しかし、20年4月から実施された特定保健指導等の成果を上げることにより医療対象者の削減につなげることが重要である。また、医療費の適正化を図るためレセプト点検受託業者との調整を密に行うことで適正執行に努める。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 法令等に基づき実施されていることから保険者独自の施策は難しい。また、国民健康保険制度は被保険者の保険料と公的資金により運営されていることから診療報酬の一部負担率等を変更することは保険料の増額につながる。また、医療の適正化を図るためレセプト点検受託業者の育成が必要となっている。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 被保険者数は減少しているものの、被保険者の高齢化がここ数年顕著であると認められこと、自己負担割合等軽減措置による保険者の負担増及び退職医療制度の廃止による65歳到達者の一般への移行により医療費は増大するものと見込まれる。このため、高齢化による医療費の負担増及び経過措置等を踏まえた算定とする。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険退職療養の給付			20年度予算コード	1	整理番号	152	枝番号	2			
担当部課名	保健福祉部国保年金課		コード	140700	昨年度 整理番号	215							
係名	国保給付係		連絡先 電話番号	1273									
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営								
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		34年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区国民健康保険被保険者及び世帯主				根拠法令等 (1) 国民健康保険法 (2) 杉並区国民健康保険条例 (3) 杉並区国民健康保険条例施行規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		被保険者の疾病・負傷に関し、診療・治療・手術等の現物給付(役務の提供)を行い、医療費の保険者負担額を医療機関等へ支払う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 被保険者の医療費負担が軽減され、安心して医療が受けられるようにする。また、医療費の適正化を図る。						
	活動指標名(式)		(1) 給付件数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 被保険者1人当たりの費用額 = 療養諸費 / 平均被保険者数 (2)						
指標	活動指標(1)	件	543,158		570,807								
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	円	409,670	413,194	433,512	434,835							
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,322,947	7,945,718	7,646,173	6,002,063	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数 (常勤 非常勤)		人	1.50	1.50	1.00	1.00	退職被保険者数 23,494					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	13,590	13,710	9,140	9,140						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	7,336,537	7,959,428	7,655,313	6,011,203						
	単位あたりコスト(-)÷		円	13,507		13,411							
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円	5,322,079	7,431,575	5,591,012						4,493,415
特定財源計 +		千円	5,322,079	7,431,575	5,591,012	4,493,415							
差引: 一般財源 -		千円	2,014,458	527,853	2,064,301	1,517,788							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0							
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)				
		退職療養の給付					570,807	件	7,646,173				
		その他 ()							0				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 152 枝番号 2

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	96.2
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	17年の被保険者数が203,602人で18年度は202,541人と減少に転じ、19年度はさらに197,699人と減少した。しかし、医療費は年々増加している。被保険者の高齢者の増加、医療の高度化等による医療費の増大などにより医療費の適正化の効果を上回る医療費負担となっている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	医療保険があることで安心して医療機関に係ることができる。				
	今後の予測	被保険者数の減少するもの高齢者の割合が増加していることから当分の間は、療養の給付費の増加傾向は続くものとする。また、20年度より開始される特定保健指導等の成果によって25年度以降の給付費の減少が見込まれる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 被保険者に必要な給付を行うことにより、医療費負担が軽減され、安心して医療が受けられる。19年4月の改正により70歳以上の入院にかかる医療費について現物給付化が諮られ、被保険者の窓口負担の軽減を図ることができた。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 法令等により定められているため。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 法令改正により自己負担割合等が20年度から自己負担割合等が引き上げられた。併せて自己負担軽減の経過措置(負担割合等の凍結)が施行された。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 医療費の適正化対策の効果以上に医療の高度化に伴う医療費の増大、後発医薬品の普及の遅れなどからもコストの削減は難しい。20年4月から実施された医療保険者が実施する特定保健指導等の成果により給付費の削減が25年度以降見込まれる。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 療養の給付は法令等により定められており、保険者が単独で新たな事業を行うことは保険料に跳ね返るものであり難しい。しかし、20年4月から実施された特定保健指導等の成果を上げることにより医療対象者の削減につなげることが重要である。また、医療費の適正化を図るためレセプト点検受託業者との調整を密に行うことで適正執行に努める。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 法令等に基づき実施されていることから保険者独自の施策は難しい。また、国民健康保険制度は被保険者の保険料と公的資金により運営されていることから診療報酬の一部負担率等を変更することは保険料の増額につながる。また、医療の適正化を図るためレセプト点検受託業者の育成が必要となっている。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 被保険者数は減少しているものの、給付費は増大している。自己負担割合等の凍結等々により保険者の負担増及び団塊の世代の退職による64歳までの退職被保険者が20年度に比べて増えると見込まれる。また、20年度予算編成時には凍結の経過措置が明らかでなかったことから十分な反映ができなかった。このため、経過措置等を考慮し20年度予算より増額算定する。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険一般療養費の支給		20年度予算コード	1	整理番号	153	枝番号	
担当部課名	保健福祉部国保年金課	コード	140700	昨年度 整理番号	212				
係名	国保給付係	連絡先 電話番号	1273						
上位施策名		No	101	国民健康保険事業の運営					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	34 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	杉並区国民健康保険被保険者及び世帯主						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	保険証を持たずに治療を受けた場合や治療用のコルセット等の補装具、あんま等マッサージなどの施術を受けたとき、骨折やねんざなど接骨院で治療を受けたとき、海外旅行等で急なけがや病気のため海外の医療機関で診療を受けたとき、審査に基づき支給している。							
	活動指標名(式)	(1) 給付件数 (2)							
事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				(1) 国民健康保険法 (2) 杉並区国民健康保険条例 (3) 杉並区国民健康保険条例施行規則					
事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				被保険者の医療費等の負担が軽減され、安心して施術等が受けられるようにする。また、医療費等の適正化を図る。					
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1) 被保険者1人当たりの費用額 = 療養諸費 / 平均被保険者 (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	件	66,320		67,343				
	活動指標(2)								
	成果指標(1)	円	190,023	185,498	201,192	203,002			
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	529,453	574,920	533,135	882,604	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円							
	職員数 (常勤 非常勤)	人	2.00	3.00	2.50 1.00	2.50 2.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	18,120	27,420	22,850	22,850		
		非常勤職員分	千円	0	0	2,770	5,540		
	総事業費 + +	千円	547,573	602,340	558,755	910,994			
	単位あたりコスト(-)÷	円	8,257		8,297				
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円	304,302	325,940	304,824	599,827		
特定財源計 +		千円	304,302	325,940	304,824	599,827			
差引: 一般財源 -		千円	243,271	276,400	253,931	311,167			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	一般療養費の支給		67,343	件	533,135				
	その他 ()				0				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 153 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	92.7
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	17年の被保険者数が203,602人で18年度は202,541人と減少に転じ、19年度はさらに197,699人と減少した。しかし、医療費は年々増加傾向にある。また、被保険者の高齢者割合の増加、医療の高度化等による医療費の増大などのため医療費の適正化の効果を上回る医療費負担となっている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	柔道整復、針灸等々についても医療費適用を行うよう要望が寄せられている。				
	今後の予測	被保険者数は減少するもの高齢者の割合が増加していることから当分の間は、療養費の支給の増加傾向は続くものと見込まれる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:被保険者に必要な給付等を行うことにより、医療費等の負担が軽減され、安心して医療等が受けられる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:法令等により自己負担割合等が定められている。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:法令により自己負担割合等が定められ、20年度から法令改正により自己負担割合等が引き上げられた。併せて自己負担軽減経過措置(負担割合等の凍結)が施行されている。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:療養費の支給のうち、柔道整復師の施術による支給が最大要因としてあり、柔道整復師の支給に際し、診療報酬との突合を行い、過重・多重受診者に対して指導を行うことで、支給の抑制が図れる。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 療養費の適正化を押し進めるなかでレセプトとの突合等が図られる体制づくりが必要となる。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 高齢者の割合が多い療養費の支給では高齢者の生活機能等の改善が必要とされ、保険者単独での支援等は難しい。今後、保険事業担当との情報交換等、調整を図る。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 被保険者の高齢化が進むなかで今後も療養費については増大傾向にある。このことから被保険者数は減少しているものの療養費については大幅な削減は見込めず、退職者医療制度からの切替を見込み増額計上することとする。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険退職療養費の支給		20年度予算コード	1	整理番号	154	枝番号
担当部課名	保健福祉部国保年金課	コード	140700	昨年度 整理番号	212			
係名	国保給付係	連絡先 電話番号	1273					
上位施策名		No	101	国民健康保険事業の運営				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	34 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	根拠法令等					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	杉並区国民健康保険被保険者及び世帯主						
	活動指標名(式)	(1) 給付件数 (2)						
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			(1) 国民健康保険法 (2) 杉並区国民健康保険条例 (3) 杉並区国民健康保険条例施行規則				
	被保険者の医療費等の負担が軽減され、安心して施術等が受けられるようにする。また、医療費等の適正化を図る。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
	成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			(1) 被保険者1人当たりの費用額(退職) = 療養諸費/平均被保険者 (2)				

区分	単位	18年度		19年度		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
		実績		計画	実績				
指標	活動指標(1)	件	16,113		16,666				
	活動指標(2)								
	成果指標(1)	円	409,670	413,194	433,512	434,835			
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	157,307	180,002	159,080	207,288	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円							
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.50		1.50		1.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	13,590	13,710	9,140	9,140		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	170,897	193,712	168,220	216,428			
	単位あたりコスト(-)÷	円	10,606		10,094				
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円	108,606	136,541	110,804	124,373		
特定財源計 +		千円	108,606	136,541	110,804	124,373			
差引: 一般財源 -		千円	62,291	57,171	57,416	92,055			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				

19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		退職療養費の支給	16,666	件	159,080
	その他 ()			0	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険診療報酬審査・支払手数料の支給 20年度予算コード		1	整理番号	155	枝番号		
担当部課名	保健福祉部国保年金課		コード	140700	昨年度 整理番号	212			
係名	国保給付係		連絡先 電話番号	1273					
上位施策名		No	101	国民健康保険事業の運営					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		34 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 杉並区国民健康保険被保険者、世帯主及び医療機関等		(1) 国民健康保険法 (2) 杉並区国民健康保険条例 (3) 杉並区国民健康保険条例施行規則				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		診療報酬審査、医療機関への診療報酬支払及び共同電算処理経費等として国民健康保険団体連合会に手数料等を支払う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 被保険者及び医療機関等に医療費を適正に給付等を行うため。				
	活動指標名(式)		(1) 審査件数 (2) 支払件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)				
指標	活動指標(1)	件	2,231,804	計画	2,285,425	2,350,000	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(2)	件	2,106,442	実績	2,381,889	2,265,000			
	成果指標(1)								
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	125,065	134,114	134,068	133,360	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円						
	(内) 委託費		千円	125,065	134,114	134,068	133,360		
	職員数 (常勤 非常勤)		人	0.79	0.80	1.00	1.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,157	7,312	9,140	9,140	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	
	総事業費 + +		千円	132,222	141,426	143,208	142,500		
	単位あたりコスト(-)÷		円	59		63	61		
	財源	受益者負担分		千円					
		国・都等からの支出金		千円	125,065	134,114	129,278	133,360	
特定財源計 +		千円	125,065	134,114	129,278	133,360			
差引: 一般財源 -		千円	7,157	7,312	13,930	9,140			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)	
		診療報酬審査委託料				2,285,425	件	45,061	
		支払手数料				2,381,889	件	46,987	
		共同電算処理経費等				12	月	42,020	
		その他 ()						0	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 155 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	100.0
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	制度の開始当初から紙レセプトによる処理を行っていたが、平成17年度から画像レセプト情報管理システムを導入した。画像管理することにより事務スペースの確保、レセプト抽出に係る作業の効率化が図られた。また、電子レセプトに係る法整備が行われ、各医療機関においても順次電子レセプト化に向け整備が行われている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)					
	今後の予測	レセプトの電子化により、特定健診等の健診結果の突合及び地域ごとの疾病傾向等の医療費分析が可能となり保険事業への活用が図られ結果として医療費の削減につながるものと推測する。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 専門機関である国保連合会に委託することにより、システムの開発を一部共同開発することで経費の削減が図られ、効率的な給付等が行える。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 電子レセプトが全医療機関等で導入された場合、過誤調整等が削減されることが見込まれる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: この事業はすべて委託料であり、本来保険者として区が行うべきものを、医療専門的知識を有する国保連合会へ委託するものなので、受益者負担の考えはない。				
(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 画像レセプト情報管理システムを導入する保険者が増えてくると、委託単価が下がることが見込まれる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 法令等による(法第45条に基づく委託及び健康保険法第63条等で定める医療機関等)				
	(3) 協働等の形態 協働[その他] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 20年度の経過措置に対応すべくシステムの改修及び事務処理を効率的にかつ適正に実施していく。また、21年の高額医療・高額介護合算療養費の支給(1年間の医療費と介護サービス費が高額にかかった場合に算定基準額を超えた分について申請により医療費等が支給される)について関係機関との調整等を行い、適正且つ迅速な支給に努める。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 異なる保険者との横断的な制度は今までにはないことであり、新たなシステム開発が必要になる。また、開発に係わる人員等の確保が常用である。現在、高額療養費の計算委託している国保連合会との調整により区開発と連合会開発とのすみわけを早い時期に行い、介護保険課との調整により人員確保を図っていく。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 20年度急ぎで施行された自己負担率の凍結、その経過措置の期限の延長及び新たな高額介護合算の計算委託等の経費を見込み積算する。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険一般高額療養費の支給		20年度予算コード	1	整理番号	156	枝番号		
担当部課名	保健福祉部国保年金課	コード	140700	昨年度 整理番号	212					
係名	国保給付係	連絡先 電話番号	1273							
上位施策名	No	101	国民健康保険事業の運営							
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	48年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	根拠法令等				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	医療費等の費用が高額になったとき、世帯主の申請により高額療養費の算定基準(自己負担限度額)を支給する。				(1) 国民健康保険法 (2) 杉並区国民健康保険条例 (3) 杉並区国民健康保険条例施行規則				
	活動指標名(式)	(1) 給付件数 (2)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 被保険者の医療費負担が軽減され、安心して医療が受けられるようにする。また、医療費の適正化を図る。				
	成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1) (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%		
	活動指標(1)	件	20,764		24,754	28,160				
	活動指標(2)									
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,524,972	1,848,306	1,748,997	2,067,930	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円								
	職員数 (常勤 非常勤)	人	2.50	3.50	1.00	3.50	1.00	3.50	2.00	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	22,650	31,990	31,990	31,990			
		非常勤職員分	千円	0	2,770	2,770	5,540			
	総事業費 + +	千円	1,547,622	1,883,066	1,783,757	2,105,460				
	単位あたりコスト(-)÷	円	74,534		72,059	74,768				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円	876,473	1,047,863	537,511	1,405,387			
特定財源計 +		千円	876,473	1,047,863	537,511	1,405,387				
差引:一般財源 -		千円	671,149	835,203	1,246,246	700,073				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	一般高額療養費		24,754	件	1,748,997					
	その他 ()				0					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 156 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	94.6
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	ここ数年、診療報酬算定額がマイナス改正され、被保険者数も減少している。しかし、医療費は高額療養費(一般、退職)で視ると平成18年度の29,592件、支給額2,120,186千円、平成19年度で35,571件、支給額2,360,327千円となり対18年度比で約20%、支給額では11%の増加となっている。また、医療費の高額化、被保険者の高齢化が進んでいる。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	医療保険があることで安心して医療機関に係ることができる。				
	今後の予測	被保険者数の減少するもの高齢者の割合が増加していることから当分の間は、療養の給付費の増加傾向は続くものとする。また、20年度より開始される特定健診、特定保健指導の成果によって25年度以降の医療費の減が見込まれる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:被保険者に必要な給付を行うことにより、医療費負担が軽減され、安心して医療が受けられる。また、19年4月から70歳以上の入院にかかる医療費について現物給付化が認められ、被保険者の窓口負担の軽減及び医療機関の診療報酬費の未収金問題の削減に貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:法令等により定められているため。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:法令により自己負担割合等を定めているため。20年度から改定されたが、同時に負担軽減の経過措置(凍結等)が施行された。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:高額療養費の件数が増大しており、これ以上のコストの削減は困難である。また、平成20年度からは、介護保険との合算も行われるようになり、事務量の増が予想される。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 高額療養費の計算を国保連合会にて行っている。今後、介護合算の計算も国保連合会が行う予定である。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 21年10月ごろから開始される高額医療・高額介護合算療養費(1年間の医療費と介護サービス費が高額にかかった場合に算定基準額を超えた分について申請により医療費等が支給される)及び継続検討されている高齢者の負担割合の凍結(現役並み所得者を除く)など高齢者にかかる軽減措置等が確実に実施できるようにする。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 システム開発等が必要であり、開発費に相当の経費が必要となる。また、開発担当者の確保が現状では難しく、国からも詳細な取扱いについて示されておらずシステム改修が難しくなっている。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 平成20年度の医療制度改革で退職医療被保険者が一般被保険者へと移行したことで、一般被保険者数が増え、高額療養費の支給件数・金額が増えてきている。また、高額医療・高額介護合算療養費の本格実施が平成21年度から始まり、医療分の高額療養費の支給件数・金額の増大が予想されるため。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険退職高額療養費の支給 <small>20年度予算コード</small>			1	整理番号	157	枝番号	
担当部課名	保健福祉部国保年金課	コード	140700		昨年度 整理番号	212			
係名	国保給付係	連絡先 電話番号	1273						
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	48 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	根拠法令等			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	医療費等の費用が高額になったとき、世帯主の申請により高額療養費の算定基準(自己負担限度額)を支給する。				(1) 国民健康保険法 (2) 杉並区国民健康保険条例 (3) 杉並区国民健康保険条例施行規則			
	活動指標名(式)	(1) 給付件数 (2)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 被保険者の医療費負担が軽減され、安心して医療が受けられるようにする。また、医療費の適正化を図る。			
成果指標名(式)		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
		(1)		(2)					

区分	単位	18年度		19年度		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
		実績		計画	実績				
指標	活動指標(1)	件	8,828	12,703	10,817	10,040			
	活動指標(2)								
	成果指標(1)	円							
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	595,214	638,350	611,330	639,126	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円							
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.50		1.71 1.00	1.00	1.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	13,590	15,629	9,140	9,140		
		非常勤職員分	千円	0	2,770	0	0		
	総事業費 + +	千円	608,804	656,749	620,470	648,266			
	単位あたりコスト(-)÷	円	68,963	51,700	57,361	64,568			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円	410,942	644,738	425,811	639,126		
特定財源計 +		千円	410,942	644,738	425,811	639,126			
差引: 一般財源 -		千円	197,862	12,011	194,659	9,140			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				

19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	退職高額療養費		10,817	件	611,330
	その他 ()				0

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 157 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	85.2	活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	95.8
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	ここ数年、診療報酬算定額がマイナス改正され、被保険者数も減少している。しかし、医療費は高額療養費(一般、退職)で視ると平成18年度の支給は29,592件、支給額2,120,186千円であり、平成19年度の支給は、35,571件、支給額2,360,327千円となり対18年度比で約20%、支給額では11%の増加となっている。また、医療費の高額化、被保険者の高齢化が進んでいる。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	医療保険があることで安心して医療機関に係ることができる。
	今後の予測	被保険者数の減少するもの高齢者の割合が増加していることから当分の間は、療養の給付費の増加傾向は続くものとする。また、20年度より開始される特定健診、特定保健指導の成果によって25年度以降の医療費の減が見込まれる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 被保険者に必要な給付を行うことにより、医療費負担が軽減され、安心して医療が受けられる。また、19年4月から70歳未満の入院にかかる医療費について現物給付化が認められ、被保険者の窓口負担の軽減及び医療機関の診療報酬費の未収金問題の削減に貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 法令等により定められているため。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 20年度自己負担額等改定されたが、併せて負担軽減の経過措置(凍結等)が施行された。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [対象の縮小] (具体的内容)	理由または具体的内容: 退職者医療制度の段階的廃止により高額療養費の件数が減少している。ただし、平成20年度からは、介護保険との合算も行われるようになり、事務量の増が予想される。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 高額療養費の計算を国保連合会にて行っている。今後、介護合算の計算も国保連合会が行う予定である。
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 20年度創設された高額医療・高額介護合算療養費(1年間の医療費と介護サービス費が高額にかかった場合に算定基準額を超えた分について申請により医療費等が支給される)及び継続検討されている高齢者の負担割合の凍結(現役並み所得者を除く)など高齢者にかかる軽減措置等が確実に実施できるようにする。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 横断的に各医療保険者間の支給額を按分するためシステム開発等が必要であり、開発費に相当の経費が必要となる。また、開発担当者の確保など詳細な取扱いが示されない中で、システム改修が急務となっている。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 医療制度改革により20年度に対象者が大幅に減少したが、今後は段階の世代の退職が始まり再び対象者の増大が見込まれること、新たに高額介護合算療養費の支給が開始されることなどから19年度決算より増額して予算計上をする。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険一般移送費の支給			20年度予算コード	1	整理番号	158	枝番号
担当部課名	保健福祉部国保年金課	コード	140700		昨年度 整理番号	212			
係名	国保給付係	連絡先 電話番号	1273						
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	34 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	杉並区国民健康保険被保険者及び世帯主		根拠法令等				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	被保険者が重病や重傷等で緊急にやむを得ない理由(医師の意見書)により転院等させるため車を使用し、費用を負担したとき審査に基づき支給する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		被保険者の移送費の負担が軽減され、重傷等で緊急やむを得ない状態に至ったとき、安心して移送ができるようにする。			
	活動指標名(式)	(1) 支給件数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (2)			
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/
	活動指標(1)	件	8		5				
	活動指標(2)								
	成果指標(1)								
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	321	300	109	300	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円							
	職員数 (常勤 非常勤)	人	0.40	0.40	0.50	0.50			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,624	3,656	4,570	4,570		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	3,945	3,956	4,679	4,870			
	単位あたりコスト(-)÷	円	493,125		935,800				
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円	0	300	0	300		
特定財源計 +		千円	0	300	0	300			
差引: 一般財源 -		千円	3,945	3,656	4,679	4,570			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	一般移送費		5	件	109				
	その他 ()				0				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 158 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	36.3
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	従来から療養の給付として法律上規定されていたが、実際には現物給付化している例はなく、療養費として償還払いが実情であった。このことから、平成6年の法改正により、現金給付としての移送費が新設され現在に至っている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測						
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 被保険者に必要な給付等を行うことにより、医療費等の負担が軽減され、安心して医療等が受けられる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 法令等により自己負担割合等が定められている。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 法令により自己負担割合等が定められ、20年度から法令改正により自己負担割合等が引き上げられた。併せて自己負担軽減経過措置(負担割合等の凍結)が施行されている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 法令等により自己負担割合等が定められている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 法令等に基づき予算計上する。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険退職移送費の支給			20年度予算コード	1	整理番号	159	枝番号	
担当部課名	保健福祉部国保年金課		コード	140700		昨年度 整理番号	212			
係名	国保給付係		連絡先 電話番号	1273						
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		34 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区国民健康保険被保険者及び世帯主				根拠法令等 (1) 国民健康保険法 (2) 杉並区国民健康保険条例 (3) 杉並区国民健康保険条例施行規則				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	被保険者が重病や重傷等で緊急にやむを得ない理由(医師の意見書)により転院等させるため車を使用し、費用を負担したとき審査に基づき支給する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 被保険者の移送費が軽減され、重傷等で緊急やむを得ない状態に至ったとき、安心して移送ができるようにする。				
	活動指標名(式)	(1) 支給件数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/	
	活動指標(1)	件	2		0					
	活動指標(2)									
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	20	300	0	300	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円								
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.40	0.40	0.00	0.50				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,624	3,656	0	4,570			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	3,644	3,956	0	4,870				
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,822,000							
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円	20	300	0	300			
特定財源計 +		千円	20	300	0	300				
差引: 一般財源 -		千円	3,624	3,656	0	4,570				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0		0.0					
19年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)		
	その他 ()							0		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 159 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	従来から療養の給付として法律上規定されていたが、実際には現物給付化している例はなく、療養費として償還払いが実情であった。このことから、平成6年の法改正により、現金給付としての移送費が新設され現在に至っている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測						
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 被保険者に必要な給付等を行うことにより、医療費等の負担が軽減され、安心して医療等が受けられる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 法令等により自己負担割合等が定められている。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 法令により自己負担割合等が定められ、20年度から法令改正により自己負担割合等が引き上げられた。併せて自己負担軽減経過措置(負担割合等の凍結)が施行されている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 法令等により自己負担割合等が定められている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 法令等に基づき予算計上する。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		出産育児一時金の支給		20年度予算コード	1	整理番号	160	枝番号	
担当部課名	保健福祉部国保年金課	コード	140700	昨年度 整理番号	212				
係名	国保給付係	連絡先 電話番号	1273						
上位施策名		No	101	国民健康保険事業の運営					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	34 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	杉並区国民健康保険被保険者及び世帯主						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	被保険者が出産したとき、出生児1人につき35万円を世帯主に支給する。							
	活動指標名(式)	(1) 支給件数 (2)							
根拠法令等				(1) 国民健康保険法 (2) 杉並区国民健康保険条例 (3) 杉並区国民健康保険条例施行規則					
事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				被保険者の出産費用が軽減され、安心して出産することができる。					
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1) (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	件	730	800	745	800			
	活動指標(2)								
	成果指標(1)								
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	255,500	280,000	260,750	280,000	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円							
	職員数 (常勤 非常勤)	人	1.00	1.00	1.00	1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,060	9,140	9,140	9,140		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	264,560	289,140	269,890	289,140			
	単位あたりコスト(-)÷	円	362,411	361,425	362,268	361,425			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円	255,500	280,000	260,750	280,000		
特定財源計 +		千円	255,500	280,000	260,750	280,000			
差引: 一般財源 -		千円	9,060	9,140	9,140	9,140			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	出産育児一時金		745	件	260,750				
	その他 ()				0				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 160 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	93.1	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	93.1
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	出生率の減少がここ数年続いていた。しかし、合計特殊出生率で平成18年度は、1.32%であったものが平成19年度は1.34%と上昇した。また、分娩費用の分娩機関窓口負担の軽減を図るため、世帯主からの委任に基づき保険者から直接分娩機関に出産育児一時金を支払う「出産育児一時金受取代理制度」を創設し、19年4月から開始した。このことは、分娩機関の未払い金を予防することにも貢献するものである。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	出産費用は医療ではないため、費用が高額になることから出産育児一時金があることで負担が軽減されこのまま制度の継続や支給額の増額の要望がある。					
	今後の予測	子育て支援等々行われていることから微増ではあるが、出産率が上がってきている。大幅なアップは難しいものの今後もこの傾向は続くものと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 被保険者に必要な支給を行うことにより、分娩費用が軽減され、安心して出産できる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 法令等に基づき23区統一基準を設け給付額を決めているため。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 正常出産については、医療給付ではなく、公立病院等の実勢経費に基づき給付額を定めており、元々全額自己負担であるものを法令等の定めにより、経費の一部を支給する制度である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 21年1月から産科医療補償制度の創設に伴い、分娩機関が支払う損害保険料が分娩費に跳ね返る。そのため、1件の支給額は増額になり、コストは上昇するため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 21年1月に「産科医療補償制度」が創設され、損害保険料が分娩費用に跳ね返ることから20年度中に同制度の施行に併せて出産育児一時金額を改定する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 額改定による予算の確保が必要である。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 21年1月から産科医療補償制度の創設に伴い、分娩機関が支払う損害保険料が分娩費に跳ね返る。被保険者の負担を軽減するため跳ね返り額を上乗せしたもので予算計上(@3万円)するものとする。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		葬祭費の支給			20年度予算コード	1	整理番号	161	枝番号			
担当部課名	保健福祉部国保年金課	コード	140700		昨年度 整理番号	212						
係名	国保給付係	連絡先 電話番号	1273									
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営							
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	34 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他	杉並区国民健康保険被保険者及び世帯主		根拠法令等							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	被保険者が亡くなったとき、葬儀を行った方に申請により葬祭費(7万円)を支給する。				(1) 国民健康保険法 (2) 杉並区国民健康保険条例 (3) 杉並区国民健康保険条例施行規則						
	活動指標名(式)	(1) 支給件数 (2)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 葬儀を行った方の負担を少しでも軽減する。						
						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
						(1) 支給総額 = 支給件数 × 支給額(定額) (2)						
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	22年度					
指標	活動指標(1)		件	2,634	2,700	2,659	855					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		円	184,380	189,000	186,130	59,850					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	184,380	189,000	186,130	59,850	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.00	1.00	1.00	1.00	20年4月より施行された後期高齢者医療制度による被保険者数の減				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	9,060	9,140	9,140			9,140		
		非常勤職員分		千円	0	0	0			0		
	総事業費 + +		千円	193,440	198,140	195,270	68,990					
	単位あたりコスト(-)÷		円	73,440	73,385	73,437	80,690					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	184,380	189,000	186,130			59,850		
特定財源計 +		千円	184,380	189,000	186,130	59,850						
差引:一般財源 -		千円	9,060	9,140	9,140	9,140						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		葬祭費の支給					2,659	件	186,130			
		その他 ()							0			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 161 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	98.5	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	98.5
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	75歳以上の国民健康保険被保険者が20年4月から施行された後期高齢者医療制度への移行のため、被保険者数が減少した。また、20年4月改正により、他保険から葬祭費の支給がされる場合には国民健康保険からの支給は行わないこととなる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	葬祭にかかる費用は高額であるため、葬祭費が支給されることで負担が軽減されると感謝の声が多い。					
	今後の予測	被保険者数においては今後、大きく増減する要員は見当たらないことから予算においても同様と予測する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 親族の方の負担を少しでも軽減するものであり、貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 法令等により、支給額の上限が定められている。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 葬祭費は、医療給付ではなく全て自己負担であるが、被保険者への負担軽減を図る目的で支給する制度であるため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 葬祭費は、医療給付ではなく全て自己負担であるが、被保険者への負担軽減を図る目的で支給する制度であるため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 遺族等の金銭的負担が軽減される給付金のため、今後も制度を維持していく必要がある。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 制度を継続していくための予算を計上していく。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		結核・精神医療給付金の支給			20年度予算コード	1	整理番号	162	枝番号
担当部課名	保健福祉部国保年金課		コード	140700	昨年度 整理番号	212			
係名	国保給付係		連絡先 電話番号	1273					
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	34 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区国民健康保険被保険者及び世帯主		根拠法令等 (1) 国民健康保険法 (2) 杉並区国民健康保険条例 (3) 杉並区国民健康保険条例施行規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	・障害者自立支援医療制度の適用を受け、住民税非課税世帯の方で月ごとの上限額(通院)を申請により支給する。 ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき医療の受診者で住民税非課税世帯の方、申請により医療費の5%を給付		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 被保険者の医療費負担が軽減され、安心して医療が受けられるようにする。					
	活動指標名(式)	(1) 支給件数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/
	活動指標(1)	件	18,432		17,866				
	活動指標(2)								
	成果指標(1)								
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	21,307	23,400	22,417	24,000	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円							
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.40	0.50	0.50	0.50			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,624	4,570	4,570	4,570		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	24,931	27,970	26,987	28,570			
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,353		1,511				
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円	21,307	23,400	22,417	24,000		
特定財源計 +		千円	21,307	23,400	22,417	24,000			
差引: 一般財源 -		千円	3,624	4,570	4,570	4,570			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	結核・精神医療給付金		17,866	件	22,417				
	その他 ()				0				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 162 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	95.8
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	被保険者からは、制度が解りにくく手続に時間がかかる。窓口は一本化してもらいたい。					
	今後の予測	東京都の医療補助制度であることから、被保険者には解りにくいものとなっている。保険者間においても申請を保険者にしておく必要性がなく、利用者に解りやすい手続方法について調整を継続して行い将来は一本化を計る。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 被保険者に必要な給付等を行うことにより、医療費等の負担が軽減され、安心して医療等が受けられる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 法令等により自己負担割合等が定められている。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 法令により自己負担割合等が定められているため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 法令により自己負担割合等が定められているため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 東京都への要望は行っているが、21年度から実施される見込みが付かないため当初予算に計上する。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		老人保健医療費拠出金		20年度予算コード	1	整理番号	163	枝番号			
担当部課名	保健福祉部 国保年金課		コード	140700	昨年度 整理番号	213					
係名	管理係		連絡先 電話番号	1232							
上位施策名		No	101	国民健康保険事業の運営							
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 社会保険診療報酬支払基金		(1) 老人保健法 (2) 国民健康保険法 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		老人保健医療事業に要する費用に当てるため、当該年度の概算請求分及び前々年度の精算分を社会保険診療報酬支払基金へ拠出する								
	活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)								
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%				
	活動指標(1)	円	36,081,202	36,871,103	36,044,844	2,992,517					
	活動指標(2)										
	成果指標(1)										
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,182,324	10,159,420	10,159,419	1,365,594	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円								
	職員数 (常勤 非常勤)		人	0.10	0.10	0.50	0.10				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	906	914	4,570	914			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	10,183,230	10,160,334	10,163,989	1,366,508				
	単位あたりコスト(-)÷		円	282	276	282	457				
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	5,545,659	6,120,649	4,639,128	837,790			
特定財源計 +		千円	5,545,659	6,120,649	4,639,128	837,790					
差引:一般財源 -		千円	4,637,571	4,039,685	5,524,861	528,718					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		老人保健医療費拠出金				12	回	10,159,419			
		その他 ()						0			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 163 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	97.8	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	100.0
		社会保険診療報酬支払基金からの通知により、概算医療費及び前々年度の清算の支払いを行うため、通知額に基づき補正予算で対応するので、予算執行率はほぼ100%となる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	高齢者数の増加により、年々医療費が増大しており、それに伴い本拠出金も増大している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	平成20年度から長寿医療制度(後期高齢者医療制度)に移行するので、平成20年度の拠出をもって本事業は終了する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 社会保障制度の一翼を担う老人保健医療費へ拠出するため。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	老人保険医療費の実績に基づき拠出するため。 理由または具体的内容: 平成20年度をもって終了する事業のため。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 医療費に対する負担は、1割~3割を負担している。さらに、拠出金額に対する負担として保険料率算定の基礎となっているため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 社会保険診療報酬支払基金よりの通知に基づき拠出しているため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 拠出額の算定は、社会保険診療報酬支払基金で行っているため。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成20年度で終了するため	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 平成20年度で終了するため	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		老人保健事務費拠出金		20年度予算コード	2	整理番号	164	枝番号			
担当部課名	保健福祉部 国保年金課		コード	140700	昨年度 整理番号	213					
係名	管理係		連絡先 電話番号	1232							
上位施策名		No	101	国民健康保険事業の運営							
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	58 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 社会保険診療報酬支払基金		(1) 老人保健法 (2) (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		老人保健医療事業に要する費用に当てるため、当該年度の概算請求分及び前々年度の精算分を社会保険診療報酬支払基金へ拠出する社会保険診療報酬支払基金の事務費を拠出する。								
	活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 支払回数(回) (2)								
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	22年度				
	活動指標(1)	回	12	12	12	1					
	活動指標(2)										
	成果指標(1)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	164,123	162,854	162,854	14,691	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円								
	職員数 (常勤 非常勤)		人	0.05	0.04	0.30	0.05				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	453	366	2,742	457			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	164,576	163,220	165,596	15,148				
	単位あたりコスト(-)÷		円	13,714,667	13,601,667	13,799,667	15,148,000				
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	164,123	162,854	162,854	14,691			
特定財源計 +		千円	164,123	162,854	162,854	14,691					
差引: 一般財源 -		千円	453	366	2,742	457					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		老人保健事務費拠出金				12	回	162,854			
		その他 ()						0			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 164 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	100.0
		社会保険診療報酬支払基金からの通知により、事務費の支払を行うため、通知額に基づき補正予算で対応するので、予算執行率はほぼ100%となる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	平成20年度から長寿医療制度(後期高齢者医療制度)に移行するので、平成20年度の拠出をもって本事業は終了する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 社会保障制度の一翼を担う老人保健医療費へ拠出するための事務費を拠出する。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	老人保険医療費等の実績に基づき拠出するため。 理由または具体的内容: 平成20年度をもって終了する事業のため。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 平成20年度をもって終了する事業のため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 社会保険診療報酬支払基金よりの通知に基づき拠出しているため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 拠出額の算定は、社会保険診療報酬支払基金で行っているため。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成20年度で終了するため	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成20年度で終了するため	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護納付金			20年度予算コード	1	整理番号	165	枝番号	
担当部課名	保健福祉部 国保年金課		コード	140700		昨年度 整理番号	213			
係名	管理係		連絡先 電話番号	1232						
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営					
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 社会保険診療報酬支払基金		(1) 介護保険法 (2) 国民健康保険法 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		第2号被保険者の介護納付金を納付する		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 徴収した介護保険料を納付する。					
	活動指標名(式)		(1) 納付回数(回) (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%	/	
	活動指標(1)	回	12	12	12	12	12	100.0		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,871,810	2,767,406	2,767,405	2,567,459	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円							
	(内) 委託費		千円							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.20	0.20	0.10	0.10			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,812	1,828	914	914		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	2,873,622	2,769,234	2,768,319	2,568,373			
	単位あたりコスト(-)÷		円	239,468,500	230,769,500	230,693,250	214,031,083			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円	1,429,906	1,417,164	1,628,496	1,501,023		
特定財源計 +		千円	1,429,906	1,417,164	1,628,496	1,501,023				
差引:一般財源 -		千円	1,443,716	1,352,070	1,139,823	1,067,350				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)		
		介護納付金				12	回	2,767,405		
		その他 ()						0		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 165 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	100.0
		社会保険診療報酬支払基金からの通知により、概算医療費及び前々年度の清算を支払いを行うため、通知額に基づき補正予算で対応するので、予算執行率はほぼ100%となる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測						
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 納付金額は、国の告示による概算払いと前々年度の清算分を支払うのみの事業であるため。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 政令等により拠出する金額が決まっているため。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 介護納付金の50%は保険料として徴収しているため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 拠出金のみの事業であり、事務費の計上はない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態	納付金額の確定は、社会保険診療報酬支払基金からの通知に基づき納付し、各介護保険者へ納付する事務を社会保険診療報酬支払基金で全て行っている。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高額医療費共同事業医療費拠出金		20年度予算コード	1	整理番号	166	枝番号		
担当部課名	保健福祉部 国保年金課		コード	140700	昨年度 整理番号	213				
係名	管理係		連絡先 電話番号	1232						
上位施策名		No	101	国民健康保険事業の運営						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	63 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 東京都国民健康保険団体連合会		(1) 国民健康保険法 (2) 東京都国民健康保険団体連合会高額医療費共同事業規則 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	都内自治体(国保)の高額な医療費による偏在から財政均衡を図る目的で、実施主体である東京都国民健康保険団体連合会へ拠出する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
	活動指標名(式)	(1) 支払回数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%	/	
	活動指標(1)	回	12	12	12	12	12	100.0		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	733,148	791,491	783,143	879,326	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円								
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.10	0.10	0.10	0.10				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	906	914	914	914			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	734,054	792,405	784,057	880,240				
	単位あたりコスト(-)÷	円	61,171,167	66,033,750	65,338,083	73,353,333				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円	1,098,143	1,253,812	1,281,610	1,311,698			
特定財源計 +		千円	1,098,143	1,253,812	1,281,610	1,311,698				
差引: 一般財源 -		千円	▲ 364,089	▲ 461,407	▲ 497,553	▲ 431,458				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	高額医療費共同事業医療費拠出金		12	回	783,143					
	その他 ()				0					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 166 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	98.9
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測						
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:高額な医療費の発生により国保財政に与える影響を抑制するための制度であるため。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:都内自治体の高額医療費(80万円以上分)の負担軽減のための拠出金であり、個々の自治体で額を決定するものではないため。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 本事業は、都内自治体における共同事業への拠出のため、受益者負担の考えがないため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:拠出金だけの事業であり、事務費の計上はない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策): 本来共同事業は、保険者が共同(都内の自治体)で効率よく事業を行うにあたり、法令等で事業の主体と決められた国保連合会へ分担金として拠出するものであるため。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 予算の際は、過去3ヵ年の実績の平均で算定するため。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険財政共同安定化事業事業費拠出金 20年度予算コード		1	整理番号	167	枝番号		
担当部課名	保健福祉部 国保年金課		コード	140700	昨年度 整理番号	213			
係名	管理係		連絡先 電話番号	1232					
上位施策名		No	101	国民健康保険事業の運営					
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	18 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 東京都国民健康保険団体連合会		(1) 国民健康保険法 (2) 東京都国民健康保険団体連合会高額医療費共同事業規則 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	都内自治体(国保)の高額な医療費による偏在から財政均衡を図る目的で、実施主体である東京都国民健康保険団体連合会へ拠出する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
	活動指標名(式)	(1) 支払回数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)					
区分		単位	18年度 実績	19年度 計画 実績		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		回	6	12	12			
	活動指標(2)								
	成果指標(1)								
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,900,695	3,961,060	3,891,380	5,573,921	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円						
	(内) 委託費		千円						
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.10		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	906	914	914	914		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	1,901,601	3,961,974	3,892,294	5,574,835		
	単位あたりコスト(-)÷		円	316,933,500	330,164,500	324,357,833	464,569,583		
	財源	受益者負担分		千円					
		国・都等からの支出金		千円	1,830,479	3,961,060	3,891,380		5,573,921
特定財源計 +		千円	1,830,479	3,961,060	3,891,380	5,573,921			
差引:一般財源 -		千円	71,122	914	914	914			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)	
		保険財政共同安定化事業事業費拠出金				12	回	3,891,380	
		その他 ()						0	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 167 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	98.2
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)					
	今後の予測					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:高額な医療費の発生により国保財政に与える影響を抑制するための制度であるため。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:都内自治体の高額医療費(30万円以上80万円未満)の負担軽減のための拠出金であり、個々の自治体で額を決定するものではないため。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:都内自治体の高額医療費(30万円以上80万円未満)の負担軽減のための拠出金であり、個々の自治体で額を決定するものではないため。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:都内自治体の高額医療費(30万円以上80万円未満)の負担軽減のための拠出金であり、個々の自治体で額を決定するものではないため。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策): 本来共同事業は、保険者が共同(都内の自治体)で効率よく事業を行うにあたり、法令等で事業の主体と決められた国保連合会へ分担金として拠出するものであるため。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 予算の際は、過去3ヵ年の実績の平均で算定するため。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高額医療費共同事業事務費拠出金		20年度予算コード	1	整理番号	168	枝番号	
担当部課名	保健福祉部 国保年金課		コード	140700	昨年度 整理番号	213			
係名	管理係		連絡先 電話番号	1232					
上位施策名		No	101	国民健康保険事業の運営					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	63 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 東京都国民健康保険団体連合会		根拠法令等 (1) 国民健康保険法 (2) 東京都国民健康保険団体連合会高額医療費共同事業規則 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	都内自治体(国保)の高額な医療費による偏在から財政均衡を図る目的で、実施主体である東京都国民健康保険団体連合会へ拠出する事業の事務費を拠出する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 					
	活動指標名(式)	(1) 支払回数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	回	0	1	0	1	1	0.0	
	活動指標(2)								
	成果指標(1)								
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	0	1,787	0	1,787	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円							
	職員数(常勤 非常勤)	人							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	0	1,787	0	1,787			
	単位あたりコスト(-)÷	円		1,787,000		1,787,000			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円		1,787		1,787		
特定財源計 +		千円	0	1,787	0	1,787			
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	0			
受益者負担比率 ÷	%		0.0		0.0				
19年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)	
	その他	()							0

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 168 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	国民健康保険団体連合会で事業を行っており、加入保険者において、事務費を分担する制度である。この事務費については、年により国庫補助金が直接共同事業実施団体に入る。本年度も補助金の交付があり、保険者の負担は発生しなかった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)						
	今後の予測	国庫補助金は、年度毎に決まるため、今年度の事務費の拠出が発生する可能性が生じている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由:高額な医療費の共同事業の単なる事務費を拠出する制度であるため。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 事務費の拠出は、共同事業に係る国保連合会の事務経費を都内自治体の被保険者数の按分で決めているため。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事務費の拠出は、共同事業に係る国保連合会の事務経費を都内自治体の被保険者数の按分で決めているため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 事務費の拠出は、共同事業に係る国保連合会の事務経費を都内自治体の被保険者数の按分で決めているため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 予算の際は、国保連合会からの見積で算定するため。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険財政共同安定化事業事務費拠出金 20年度予算コード		1	整理番号	169	枝番号	
担当部課名	保健福祉部 国保年金課	コード	140700	昨年度 整理番号	213			
係名	管理係	連絡先 電話番号	1232					
上位施策名		No	101	国民健康保険事業の運営				
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	18 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	東京都国民健康保険団体連合会	根拠法令等				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	都内自治体(国保)の高額な医療費による偏在から財政均衡を図る目的で、実施主体である東京都国民健康保険団体連合会へ拠出する事務費を拠出する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
	活動指標名(式)	(1) 支払回数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%	
	活動指標(1)	回	0	1	0	1		
	活動指標(2)							
	成果指標(1)							
	成果指標(2)							
総事業費・コスト把握	事業費	千円	0	1,433	0	1,433	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円						
	(内) 委託費	千円						
	職員数(常勤 非常勤)	人						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費 + +	千円	0	1,433	0	1,433		
	単位あたりコスト(-)÷	円		1,433,000		1,433,000		
	財源	受益者負担分	千円					
		国・都等からの支出金	千円		1,433		1,433	
特定財源計 +		千円	0	1,433	0	1,433		
差引: 一般財源 -		千円	0	0	0	0		
受益者負担比率 ÷	%		0.0		0.0			
19年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)		
	その他	()				0		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 169 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	国民健康保険団体連合会で事業を行っており、加入保険者において、事務費を分担する制度である。この事務費については、年により国庫補助金が直接共同事業実施団体に入る。本年度も補助金の交付があり、保険者の負担は発生しなかった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)						
	今後の予測	国庫補助金は、年度毎に決まるため、今年度の事務費の拠出が発生する可能性が生じている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由:高額な医療費の発生により国保財政に与える影響を抑制するための制度の事務費であるため。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 事務費の拠出は、共同事業に係る国保連合会の事務経費を都内自治体の被保険者数の按分で決めているため。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事務費の拠出は、共同事業に係る国保連合会の事務経費を都内自治体の被保険者数の按分で決めているため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 事務費の拠出は、共同事業に係る国保連合会の事務経費を都内自治体の被保険者数の按分で決めているため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 予算の際は、国保連合会からの見積で算定するため。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		その他共同事業拠出金			20年度予算コード	3	整理番号	170	枝番号	
担当部課名	保健福祉部 国保年金課		コード	140700	昨年度 整理番号	213				
係名	管理係		連絡先 電話番号	1232						
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 東京都国民健康保険団体連合会				根拠法令等 (1) 国民健康保険法 (2) (3)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		特定健康診査・特定保健指導のシステムを都内全区市町村にて共同運営するために、東京都国民健康保険団体連合会に依頼し開発した経費を拠出する事業。また、退職者医療制度への職権適用のために国保連合会から年金データを受け取るため経費を拠出した。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 			
	活動指標名(式)		(1) 拠出回数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)			
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する19年度 の達成率%	/	
	活動指標(1)	回	2	2	2	1				
	活動指標(2)									
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	40,651	44,815	20,650	110	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円								
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.05	0.02	0.10	0.10		平成20年度から始まる特定健康診査・特定保健指導の共同システム開発に関する経費は、平成18年度及び平成19年度のための拠出のため、20年度からの拠出は激減した。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	453	183	914	914			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	41,104	44,998	21,564	1,024				
	単位あたりコスト(-)÷	円	20,552,000	22,499,000	10,782,000	1,024,000				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円	40,651	44,815	20,650	110			
特定財源計 +		千円	40,651	44,815	20,650	110				
差引:一般財源 -		千円	453	183	914	914				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	特定健康診査・特定保健指導共同システム開発経費拠出金		1	回	20,636					
	退職者医療制度への職権適用用の年金データ抽出経費拠出金		1	回	14					
	その他 ()				0					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 170 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	46.1
		特定健康診査・特定保健指導の共同システム開発に国庫補助金を活用した国保中央会のシステムを組み入れることで開発経費が予定より激減した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測						
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 特定健康診査・特定保健指導の共同システム開発により、新制度への円滑な移行作業が期待できた。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 共同事業における国保連合会への拠出金であり、その内容は年度毎に変わるため。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 共同事業における国保連合会への拠出金であり、その内容は年度毎に変わるため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 共同事業における国保連合会への拠出金であり、その内容は年度毎に変わるため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成20年度から始まる特定健康診査・特定保健指導の共同システム開発に関する経費は、平成18年度及び平成19年度のみのものであり、20年度からの拠出は激減するため。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険保健事業			20年度予算コード	1	整理番号	171	枝番号		
担当部課名	保健福祉部 国保年金課		コード	140700	昨年度 整理番号	214,214-2,215					
係名	管理係		連絡先 電話番号	1232							
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		44 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 国民健康保険被保険者		(1) 国民健康保険法 (2) (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		被保険者の健康増進のため、夏季保養所の開設や被保険者の今後の健康づくりのための医療費通知など実施		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・温泉宿泊施設を借上げ心身をリフレッシュし、健康増進に寄与する。 ・受診時の医療費や医療費の支払の流れを通知し、被保険者に国保の制度を理解してもらい、健康づくりに寄与する。 ・内臓脂肪症候群から生活習慣病の発症を防ぎ、将来の医療費を削減する。						
	活動指標名(式)		(1) 夏季保養所利用延べ部屋数 (2) ウエストサイズ物語コーナー設置延べ数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 夏季保養所利用率 = 利用部屋数 / 借上げ部屋数 (2)						
指標		区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する19年度 の達成率%		
		活動指標(1)	件	259	259	259	259				
		活動指標(2)	所	37	56	56	56				
		成果指標(1)	%	100	100	100	100				
		成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	34,786	58,184	36,401	17,021	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円	1,320	13,454	8,394	1,611				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.27	1.19	2.70	2.00	・ウエストサイズ物語コーナーの設置は、平成18年度及び平成19年度のみ の事業。 ・特定保健指導モデル事業は平成19年度のみ の事業で、平成20年度からは別事業にし、本 格実施する。			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,506	10,877	24,678	18,280				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	46,292	69,061	61,079	35,301				
	単位あたりコスト(-)÷		円	178,734	266,645	235,826	136,297				
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	34,786	58,184	20,101				17,021
特定財源計 +		千円	34,786	58,184	20,101	17,021					
差引:一般財源 -		千円	11,506	10,877	40,978	18,280					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み		内 容			規模	単位	事業費(千円)				
		ウエスト物語コーナーの整備			19	所	17,584				
		夏季保養所の借上げ			5	所	7,459				
		特定保健指導モデル事業委託			1	件	3,327				
		医療費通知発送業務			125,122	件	4,530				
		その他 ()					3,501				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 171 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	62.6
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		特定健康診査・特定保健指導の計画策定が義務付けられ、従来の区民健診のデータを基にコンサルタント等を活用して委託で計画書の作成を予定していたが、特定保健指導のモデル事業の成果も加味し、職員で計画書の作成を行ったので、委託経費の減が図られた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	医療費通知の対象月を平成10年度から年2回(5月・8月)にした。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	夏季保養施設事業は、5施設(7部屋)の借上げであるが、年々応募者数が増加しており、抽選で利用できない被保険者が増加して、保険料を高い保険料を支払っているのだから、もっと施設数を増やしてほしいという要望がある。					
	今後の予測	医療費通知事業は、被保険者が医療機関を受診した際に医療機関が領収書の発行が義務付けられ、医療費に関する認識が高まりつつある。今後は通知対象月を増やすなどさらに医療制度の認識向上を図る。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:夏季保養所事業は、心身のリフレッシュを目的とした健康増進事業である。医療費通知は、被保険者が医療機関での受診の認識と医療費の総額を通知し医療制度の理解を深めてもらう事業である。特定保健指導モデル事業は、平成20年度から本格実施される保健指導をモデル的に実施し、今後の事業展開に役立たせる事業である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:医療費通知の対象月を増やすことは、処理経費の増大につながる。また、夏季保養所の施設数の増についても賃借料の増大となる。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:医療費通知は、受診データから保険者として通知する行為であるので、受益者負担の考えはない。また、夏季保養所事業については、施設借り上げ料のみの支出で食費等は施設利用					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:医療費通知は、被保険者の受診件数の増により経費が年々増加しているため、コストの減の余地はない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 医療費通知は、通知の作成を国保連合会に委託して実施している。夏季保養所は、民間の施設を借り上げて実施しているので、これ以上の協働は発生しない。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 受診保険医療機関等の領収書と医療費通知との照合がしやすくなることから、費用の確認等を行う被保険者が増え、医療費に対する意識が高まるものと考えられる。今後も新たな視点で通知方法・手段等を継続して検討する。また、特定健康診査・特定保健指導の開始により既存の保健事業のあり方について見直しを求められており、より早い時期の見直しに着手する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 対象件数の増加に加えて郵送では通知回数を増やすとコストがかさむという問題がある。画像レセプト情報管理システムのデータを利用して、傷病名別の平均費用等の情報を療養に関する啓蒙活動の一環としてホームページに公開や、インターネットの利用等を含めた通知方法を検討するなど改善策が必要である。夏季保養所は利用の多かった高齢者の被保険者が長寿医療制度へ移行したので、長寿医療制度の保健事業との連携を図る必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 平成19年度は、特定保健指導モデル事業やウエストサイズ物語コーナーの設置経費など臨時的経費があったが、平成21年度は臨時的経費もなく平準化された予算となる予定である。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	過誤納保険料の還付(一般)	20年度予算コード	1	整理番号	173	枝番号	
-----------	---------------	-----------	---	------	-----	-----	--

担当部課名	保健福祉部国保年金課	コード	140707	昨年度 整理番号	208
係名	国保収納係	連絡先 電話番号	1243		

上位施策名	No	101	国民健康保険事業の運営
-------	----	-----	-------------

事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 34年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等 (1) 地方税法第17条 (2) 杉並区国民健康保険条例施行規則第15条 (3)
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 過納国民健康保険料、過納が生じた世帯	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 過納となった保険料を還付または充当する。
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 住民税額の減額変更や世帯資格に変更があり、国民健康保険料が減額となり、納め過ぎとなった保険料について、通知を送付したうえで還付または充当する。	活動指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 還付件数 (2) 還付金額
	成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 生じた還付のうち、還付した件数の割合 (2) 生じた還付のうち、還付した金額の割合	

区分	単位	18年度		19年度		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%	
		実績	計画	実績	計画				
指標	活動指標(1)	件	2,521	3,420	3,076	3,550			
	活動指標(2)	円	73,969,568	100,811,000	90,037,559	104,853,000			
	成果指標(1)	率/件	88.25%		90.37%	100%			
	成果指標(2)	率/円	84.22%		87.09%	100%			
総事業費・ コスト把握	事業費	千円	73,970	100,811	90,038	104,853	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円							
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.00 1.00	1.00 0.00	1.00 0.00	2.00 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	18,120	9,140	9,140			18,280
		非常勤職員分	千円	2,830	0	0			0
	総事業費 + +	千円	94,920	109,951	99,178	123,133			
	単位あたりコスト(-)÷	円	37,652	32,149	32,243	34,685			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	94,920	109,951	99,178	123,133			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				

19年度の主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
	その他 ()				90,038

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 173 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	89.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	89.3	19年度予算 執行率%	89.3
		還付件数が予想を下回ったため					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	還付件数、金額が増加傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	納付から還付までの日数がかかり過ぎる。					
	今後の予測	職員定数減などから、国民健康保険事務を見直した結果、これまで毎日処理していた事務の一部を月例化することにより、更に還付までの日数が延びることとなる場合が生じる。また、保険料の特別徴収が始まると、更に件数も増え、事務が複雑化し、還付までの日数の増加も見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 過誤納となった保険料は、法の規定により還付しなければならない。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 事業費が還付額そのもののため。 理由または具体的内容: 国民健康保険事務全体を見て、一部の事務につき月例化を検討しているが、還付処理についてのみ言えば、還付までの日数が延びる結果となる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 過納保険料を還付する事務のため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 還付する際に、適法に充当する先はあるか、還付先に誤りがないか、など1件ずつ確認や判断が必要なため、手作業が基本となる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 還付する際に、適法に充当する先はあるか、還付先に誤りがないか、など1件ずつ確認や判断が必要なため、手作業が基本となる。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 国民健康保険事務の一部月例化及び平成21年10月開始の、保険料の特別徴収により、還付件数が激増するとともに、一定時期に集中することが予想され、現員では処理不可能となるため、担当人員増と、月例化への対応が必要となる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 還付事務に人員増が必要な中、組織としては定数減(過員の定数化)が予定されており、他の事務についても大幅な見直しを必要とする。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	21年度から予定されている、保険料の特別徴収については、世帯資格や保険料賦課変更によって保険料が変わっても、年金保険者への特徴データ変更に2ヶ月以上必要と言われており、過誤納、還付となるケースが激増することが予想される。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		過誤納保険料の還付(退職)			20年度予算コード	1	整理番号	174	枝番号	
担当部課名	保健福祉部国保年金課		コード	140707	昨年度 整理番号	208				
係名	国保収納係		連絡先 電話番号	1243						
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		34年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 過納国民健康保険料、過納が生じた世帯				根拠法令等 (1) 地方税法第17条 (2) 杉並区国民健康保険条例施行規則第15条 (3)			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		住民税額の減額変更や世帯資格に変更があり、国民健康保険料が減額となり、納め過ぎとなった保険料について、通知を送付したうえで還付または充当する。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 過納となった保険料を還付または充当する。			
	活動指標名(式)		(1) 還付件数 (2) 還付金額				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 生じた還付のうち、還付した件数の割合 (2) 生じた還付のうち、還付した金額の割合			
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	件	173	275	300	245	300	100.0		
	活動指標(2)	円	5,204,488	8,246,000	7,992,436	7,384,000	8,000,000	99.9		
	成果指標(1)	率/件	92.72%		95.07%	100%	100%	95.1		
	成果指標(2)	率/円	88.11%		95.39%	100%	100%	95.4		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,205	8,246	7,993	7,384	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内)投資的経費等	千円								
	(内)委託費	千円								
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,060	9,140	9,140	9,140			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 ++	千円	14,265	17,386	17,133	16,524				
	単位あたりコスト(-)÷	円	82,457	63,222	57,110	67,445				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円	5,205	8,246	7,993	7,384			
特定財源計 +		千円	5,205	8,246	7,993	7,384				
差引:一般財源 -		千円	9,060	9,140	9,140	9,140				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)		
		その他	()						7,993	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 174 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	109.1	活動指標(2)の 19年度達成率%	96.9	19年度予算 執行率%	96.9
		還付件数が予想を下回ったため					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	還付件数、金額が増加傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	納付から還付までの日数がかかり過ぎる。					
	今後の予測	職員定数減などから、国民健康保険事務を見直した結果、これまで毎日処理していた事務の一部を月例化することにより、更に還付までの日数が延びることとなる場合が生じる。また、保険料の特別徴収が始まると、更に件数も増え、事務が複雑化し、還付までの日数の増加も目覚ましい。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 過誤納となった保険料は、法の規定により還付しなければならない。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 事業費が還付額そのもののため。 理由または具体的内容: 国民健康保険事務全体を見て、一部の事務につき月例化を検討しているが、還付処理についてのみ言えば、還付までの日数が延びる結果となる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 過納保険料を還付する事務のため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 還付する際に、適法に充当する先はあるか、還付先に誤りがないか、など1件ずつ確認や判断が必要なため、手作業が基本となる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 還付する際に、適法に充当する先はあるか、還付先に誤りがないか、など1件ずつ確認や判断が必要なため、手作業が基本となる。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 国民健康保険事務の一部月例化及び平成21年10月開始の、保険料の特別徴収により、還付件数が激増するとともに、一定時期に集中することが予想され、現員では処理不可能となるため、担当人員増と、月例化への対応が必要となる。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 還付事務に人員増が必要な中、組織としては定数減(過員の定数化)が予定されており、他の事務についても大幅な見直しを必要とする。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 21年度から予定されている、保険料の特別徴収については、世帯資格や保険料賦課変更によって保険料が変わっても、年金保険者への特徴データ変更に2ヶ月以上必要と言われており、過誤納、還付となるケースが激増することが予想される。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険国庫支出金等返納金		20年度予算コード	1	整理番号	175	枝番号
担当部課名	保健福祉部 国保年金課		コード	140700		昨年度 整理番号		
係名	管理係		連絡先 電話番号	1232				
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営			
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		34 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 国、都、社会保険診療報酬支払基金		根拠法令等 (1) 国民健康保険法 (2) (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	前年度に過交付された交付金を精算するための返納金		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
	活動指標名(式)	(1) 支払回数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%
	活動指標(1)	回	3	0	3	0		
	活動指標(2)							
	成果指標(1)							
	成果指標(2)							
総事業費・コスト把握	事業費	千円	389,806	218,386	218,386	1	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円						
	(内) 委託費	千円						
	職員数 (常勤 非常勤)	人	0.10	0.10	0.00	0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	906	914	0	0	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費 + +	千円	390,712	219,300	218,386	1		
	単位あたりコスト(-)÷	円	130,237,333		72,795,333			
	財源	受益者負担分	千円					
		国・都等からの支出金	千円	0				
特定財源計 +		千円	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	390,712	219,300	218,386	1		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0			
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)			
	国庫支出金返納金		1	回	3,798			
	都支出金返納金		1	回	1,320			
	療養給付費等返納金		1	回	213,268			
	その他 ()				0			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 175 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	100.0
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測						
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由:前年度の国・都・社会保険診療報酬支払基金からの交付金を精算するため。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 前年度の交付金の精算金を支出するだけの事業であるため。					
	成果向上のための方策	理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:前年度の交付金が過交付になった場合だけ、支出(返還)する事業のため。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:前年度の交付金が過交付になった場合だけ、支出(返還)する事業のため。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 前年度の交付金であるが、当該年度の交付金にて精算が行われれば、還付の処理は必要なくなる。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	予算見積時は、科目存置としているため。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険小切手支払未済償還金 <small>20年度予算コード</small>		1	整理番号	176	枝番号	
担当部課名	保健福祉部 国保年金課	コード	140700	昨年度 整理番号				
係名	管理係	連絡先 電話番号	1232					
上位施策名		No	101	国民健康保険事業の運営				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	34 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他	過納付小切手支払者	根拠法令等				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	保険料の支払を小切手で行い、保険料に充当できない分の小切手相当金額を償還する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
	活動指標名(式)	(1) (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/
	活動指標(1)							
	活動指標(2)							
	成果指標(1)							
	成果指標(2)							
総事業費・コスト把握	事業費	千円		1		1	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円						
	(内) 委託費	千円						
	職員数 (常勤 非常勤)	人						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0		0
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0
	総事業費 + +	千円	0	1	0	1		
	単位あたりコスト(-)÷	円						
	財源	受益者負担分	千円					
		国・都等からの支出金	千円	0	1			1
特定財源計 +		千円	0	1	0	1		
差引: 一般財源 -		千円	0	0	0	0		
受益者負担比率 ÷	%		0.0		0.0			
19年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)	
	その他	()						0

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 176 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測						
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 該当する件数は今まで発生していない。あくまでも科目存置である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 該当する件数は今まで発生していない。あくまでも科目存置である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 該当する件数は今まで発生していない。あくまでも科目存置である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 該当する件数は今まで発生していない。あくまでも科目存置である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	国民健康保険一時借入金利子	20年度予算コード	1	整理番号	177	枝番号
-----------	---------------	-----------	---	------	-----	-----

担当部課名	保健福祉部 国保年金課	コード	140700	昨年度 整理番号
係名	管理係	連絡先 電話番号	1232	

上位施策名	No	101	国民健康保険事業の運営
-------	----	-----	-------------

事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 34 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等 (1) 国民健康保険法 (2) (3)
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 借入した金融機関	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 原則的には、ない。
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 国民健康保険事業会計にて、金融機関等から一時的に借り入れた際の利子を支払う。	活動指標名(式) (1) (2)
	成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)	

区分	単位	18年度	19年度		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%	
		実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)							
	活動指標(2)							
	成果指標(1)							
	成果指標(2)							
総事業費・コスト把握	事業費	千円		1		1	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円						
	(内) 委託費	千円						
	職員数(常勤 非常勤)	人						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0		0
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0
	総事業費 + +	千円	0	1	0	1		
	単位あたりコスト(-)÷	円						
	財源	受益者負担分	千円					
		国・都等からの支出金	千円	0	1			1
特定財源計 +		千円	0	1	0	1		
差引: 一般財源 -		千円	0	0	0	0		
受益者負担比率 ÷	%		0.0		0.0			

19年度の主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
	その他 ()				0

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 177 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測						
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 該当する件数は今まで発生していない。あくまでも科目存置である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 該当する件数は今まで発生していない。あくまでも科目存置である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 該当する件数は今まで発生していない。あくまでも科目存置である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 該当する件数は今まで発生していない。あくまでも科目存置である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険延滞金		20年度予算コード	1	整理番号	178	枝番号	
担当部課名	保健福祉部 国保年金課		コード	140700		昨年度 整理番号			
係名	管理係		連絡先 電話番号	1232					
上位施策名		No	101		国民健康保険事業の運営				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	34 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象債権者	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			根拠法令等				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	国民健康保険事業会計にて、支払義務が生じた債務に対し、期限を過ぎて支払った際の延滞金を支払う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) あってはならない。					
	活動指標名(式)	(1) (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)					
指標	活動指標(1)	単位	18年度 実績	19年度 計画	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(2)								
	成果指標(1)								
	成果指標(2)								
	事業費		千円		1	1	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
(内) 投資的経費等		千円							
(内) 委託費		千円							
職員数(常勤 非常勤)		人							
人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0				
	非常勤職員分	千円	0	0	0				
総事業費 + +		千円	0	1	0				
単位あたりコスト(-)÷		円							
財源	受益者負担分	千円							
	国・都等からの支出金	千円	0	1	1				
	特定財源計 +	千円	0	1	0				
	差引: 一般財源 -	千円	0	0	0				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0				
19年度の主な取組み		内 容			規模	単位	事業費(千円)		
		その他 ()					0		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 178 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測						
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 該当する件数は今まで発生していない。あくまでも科目存置である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 該当する件数は今まで発生していない。あくまでも科目存置である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 該当する件数は今まで発生していない。あくまでも科目存置である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 該当する件数は今まで発生していない。あくまでも科目存置である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由